

父親のイノシシと母親のブタから産まれたハーフ
特に脂身は口の中でとろけるような滑らかさで、甘みもあってコクもある、しゃぶしゃぶにして食べたい逸品

イブの恵み（イノブタ）

○特 徴：

和歌山県畜産試験場で交配の研究を重ね、ベストな組み合わせとして交配した一代雑種のイノブタ。

適度な歯ごたえで臭みが無く、特に脂身は口の中でとろけるような滑らかさで、甘みもあってコクもある。



○食べ方

どの肉料理にも対応しておいしいが、特にロースあるいはバラ部分を使ったしゃぶしゃぶは絶品。

○来 歴：

昭和45年に県畜産試験場で誕生。

平成20年にすさみ町の「イノブータン王国活性化委員会」が愛称を募集したところ、イノシシとブタの良いところ（恵み）から名付けた「すさみF1イノブタ“イブの恵み”」が選ばれる。



○旬：通年

○産 地：すさみ町

○生産量：約10t（H24年度枝肉、すさみ町）

○問い合わせ先：すさみ町商工会（0739-55-2293）

○出荷期間：周年

○備 考：ソーセージやハムなどの加工品もあり、株式会社いこいの村わかやまの加工品が平成24年度プレミアム和歌山審査員特別賞を受賞。また、麒麟ビールのプレゼントキャンペーン「選ぼうニッポンのうまい! 2013」の賞品として、和歌山県代表の「イノブタのハム・ソーセージ詰合せ」が全国 No.1 の応募数を獲得。